

一般質問
8議員登壇

市政を問う

フラワーパークは中止を

市長／中止の考えはない



徳峰 一成議員

徳峰議員 花公園の収支を聞きたい。

池田市長 入場者は約3万9千人。収入約900万円。経費約1千900万円である。

問 只今、答弁された収支と、花公園の花の種類と規模内容の関連性を説明されたい。

市長 どういった花を植えるかは、今後検討したい。

収支については、曾於市や近隣市町の人口を

参考にした。

問 人口だけで収支を出すのでは、信用できない。また市長は、新幹線や霧島ジオパークなどのお客も見込めると答弁されている。

これらの数はどの程度か。

市長 計算していない。

問 利用者が答弁できないなら、これらのアドバランは撤回すべきではないか。

市長 今後行動するなかでお客は来ると思う。間違っていない。中止する考えはない。

選挙謀略ビラ、怪文書は取り締まりを

問 市長選挙前に、相手側を中傷・非難する出所不明のビラが配布されているが。

増田選管委員長 悪質な違反等は、警察とも連携して対応したい。

問 この怪文書は、市長の随行者が家畜市場で配っている。

市長 出所はちゃんとしたものが大事だと思う。

市長の4年ごとの退職金は廃止を

問 この制度は、時勢に合わないではないか。

市長 時勢に合わないと思う。

しかし曾於市は、県の一部事務組合に入っており、その判断に従いたい。

問 市長の判断で退職金は廃止できることで

ある。

一部事務組合を脱退して廃止を判断すべきではないか。

市長 一部事務組合のもとで対応したい。

一貫性に欠ける市有財産の貸付について

問 市が貸付けている市有財産は、県・商工会・自治会などに対して、有償、無償が個々にバラバラである。これでは行政としておかしい。

今後、整合性をもたせるべきではないか。



パークゴルフ場・フラワーパークイメージ図

新幹線と花公園は
イメージがわからないナー

ちょっと
ひとりごと

市長 今後、整合性がとれるよう取り組みたい。議員から指摘されたように有償、無償の判断基準を明確にしていきたい。

曾於市のブランド認証 品について

市長／認証品目の拡大に努めていきたい



今鶴 治信議員

今鶴議員 曾於市ブランド16品目が認証されたがそれぞれの品目の認知度は。

池田市長 平成23年度において16品目の加工品を曾於市ブランドとして認定した。昨年度実施した城山観光ホテルでのお披露目会や、市民祭のグルメ街道でのPR効果もあり、特に肉やゆず製品については販売も堅調に推移



にぎわうがごしまファン感謝デー
(京セラドーム大阪)

している。

問 これまでの曾於市ブランド認証品の普及啓蒙の活動の取り組みは。

市長 県外では、横浜の「キヤメロットジャパンホテル」、大阪での「かごしまファン感謝デー」、阿倍野近鉄百貨店や「東京ミッドマーケット」でのPR販売を行った。

市内での取り組みは、曾於市観光特産開発センターが事務局となり「ブランド認証販売促進事業」として市内外で19回の事業を展開した。

問 曾於市のホームページを閲覧しても、ブランド品目の詳しい説明が足りないと思うが。

市長 今後、それぞれのブランド品目の認証理由や特徴など、詳しく

い説明の掲載を検討する。

地域高規格道路（都城・志布志道路）整備について

問 都城・志布志道路の末吉ICから県境までの末吉道路の事業化が決定したが、これからの整備事業の進め方は。

市長 曾於市内については、末吉ICから有明北IC間がすでに開通している。県境区間の2・7kmが計画区間のままであったが、各関係自治体で構成する「都城・志布志道路建設促進協議会」等の活動を中心に、国・県への要望活動を繰り返し行ってきた。今回、整備区間の指定を受け1億円の予算配分がなされた。

事業の進め方については、本年度の秋口に地元説明会を開催し、測量設計に着手しその

後、道路計画、用地買収が進む予定である。

問 計画路線には、市文化財遺跡の平松城跡地があるが影響はないか。

市長 県からは、当初トンネルで抜ける案で検討している旨の話があったが、その後検討を重ね、平松城跡を避けてより東側に迂回する計画に変更したいとの説明を受けている。



全線開通が待たれる末吉IC

ブランド品みんなも
一度食べてみてよ

ちょっと
ひとりごと

池田市政の総括は

市長／合併時に比べると着実に前進している



大津 亮二議員

大津議員 池田市政誕生8年を迎えるがこれまでの総括をさげたい。

池田市長 旧3町の融合と一体感の醸成に取



市制8年を迎えた曾於市役所

り組んできた。曾於市名も確実に定着し、市の個性も広がりを見せ、1期目の政策実行計画60項目の内約90%を達成し、2期目5項目もほぼ100%達成の見込みで、合併時に比べると確実に好転し、着実に前進していると総括している。課題は農林業従事者の減

少と高齢化、資材等価格の高騰、木材価格の低迷、商店街の活性化、交流人口の増への対策、少子高齢化、学校規模の適正化、学校・社会教育施設の老朽化、助成金の適正化等が主な課題である。

商工業振興について

問 商店街振興のキーワードは何か。

市長 商店街は集客力が弱い傾向にあり、近隣の大型店へ顧客が流れている現状である。今後、高齢者の方々に

対する細かな対策が鍵で、思いやりバス・タクシーの活用、イベントの開催や商品券の発行等で、商店街へ集客を図ることが必要である。

問 移転検討の病院があると思うが、商店街への影響はないか。

市長 末吉中心街に位置する高原病院で、仮

に移転されると近隣商店への影響は大きい。

問 3町の中央公民館が老朽化しており、建築計画が必要ではないか。

市長 末吉中央公民館の昭和37年を始め、大隅、財部も昭和40年代に建築され、どこも老朽化が進んでいる。(仮称)社会教育関連施設

在り方検討委員会等を設置し、総合的に検討したい。

市内高校の振興策は

問 3高校に、閉校までの期間、支援策はないか。

市長 有終の美が飾れるよう、どのような支援が可能か3高校等の意見を聞き検討したい。

問 新設高校の開校までの動きについては。

市長 校名は「曾於高等学校」と決定した。この後、設置学科や制

服・校歌・校章・学校行事等について6月中旬以降に決定する旨の説明を受けている。

問 県教委へ要望してきた事と市単独の支援策は。

市長 市内外から生徒を集め、地域に根ざした魅力ある新設校の設置と進学コースの設置、3高校にある専門学科の維持を要望した結果、生徒が個々の進路に応じて科目選択が柔軟にできる教育課程等の構想が示され、国立大学進学を実現する



賑わいが望まれる末吉商店街

市単独の支援対策は必要で、内容について検討を進めている。通学バスについても何らかの対応を検討したい。

高校支援やるんだったら
今でしょ！

ちょっと
ひとりごと

F M移行後の地域内放送は市の責任で整備を

市長／地域内の情報伝達手段として色々な角度から検討していく



吉村 幸治議員

吉村議員 市営放送のオフトーク・有線放送から※コミュニティF Mへの移行時期は。



オフトーク（電話回線）による地域内放送（財部町南自治会）

池田市長 コミュニティF Mは財部のオフトークサービスの停止を受けて、財部地区を先行して平成27年度に運用を開始する計画である。

問 併用運用を考えているのか。

市長 大隅・末吉の運用開始は、その後になるので、有線放送との併用運用はあるものと思っている。

問 地域内（自治会）放送をどのように捉えているか。

市長 地域内放送の利用率は市全体の約34%で各地区とも、さほど高くないところだが、地域内の情報伝達手段としての意義については理解している。

問 F M導入収支計画では財部開始の27年度に地域放送機とオフトーク電話料があるが、その内容は。

企画課長 地域放送機は今まで活用しているところが親機を導入した場合、オフトーク電話料はF M放送と二年間併用運用した時の試算計画である。

問 地域内放送にこの3100万円を一年前倒して26年度に有効に活用して整備できないのか。

市長 その方向を前提として今後、色々な角度から検討していく。

庄内川・溝ノ口の河川改修の早期完成を

問 河川改修計画は23年3月の地元説明会で示した計画に沿って、県と協議しながら進めているのか。

市長 22年の災害後庄内川の寄洲の除去、河床の掘削、堤防の大型土のうによるかさ上げ等が緊急的に行われたが、本格的な河川改修は目に見えて進捗がない。

先般、宮崎県との協議も整ったとのこと、今後は地元説明会等も予定されている。

問 いまだ計画に無い

溝ノ口橋の改良はどうなっているのか。

市長 河川改修計画が溝ノ口橋の上流の井ぞきまどとなっていて、県で改良する方向で進めているとのことなので、市としても一生懸命取り組んでいく。

問 早期の完成を願うが、全体の工事完了目標年度は。

市長 予算の確保等にもよることから、宮崎県や地元との調整を図りながら進めるとのことであり、さらに市として早



県境を流れる庄内川（関之尾上流）

期完成に向けて、災害が二度と繰り返されないように取り組んでいく。

地域づくり一緒に頑張りましょう
ちょっとひとりと

※ コミュニティF Mとは
注釈：市町村の一部において平成4年に制度化された超短波（F M）放送局。災害時や緊急時にリアルタイムで停電・断水の状態など情報をきめ細かく提供できる。

地域福祉計画策定状況

市長／18地区が策定を終了している



池田市長

い校区は何件か。旧町ごとに聞きたい。

迫議員 26校区による校区社会福祉協議会のうち、校区地域福祉計画が立ち上がっていない

池田市長 地域福祉計画については、平成21年度より順次策定されており、現時点では、18地区が策定を終了している。まだ地域福祉計画が



下財部社協の策定委員会

策定されていない校区は、大隅2校区、末吉6校区である。

問 各校区社協の地域福祉計画策定に対して職員サポートを必要とした校区があったか、行政のプロとしての協力が必要であるが経過はどうであったか。

福祉事務所長 地域福祉計画策定については地域住民自ら策定することが望ましい。今日までは、職員が参画した校区はないが、職員も地域住民の立場でもあることから、今後検討し対応したい。

問 高齢者見守り対策基本方針により、共助として、在宅福祉アドバイザーと曾於市社協の「ほっとサービス」の有償ボランティアと無償ボランティアの違いのとりえ方はどうか。



誇りある校旗

所長 在宅福祉アドバイザーは、ボランティアであるが市の方から1回500円、年間6000円以内、社協の方から年間2000円、併せて最大8000円の謝礼金が支給される。

一方、「ほっとサービス」の方は支援する人もそれを使う人も市社協に登録しており、支援をお願いするとき決められた金額を支払うことになる。

問 校区社協について

の活動費等については、今後どのように対応されるか。

所長 市社協から人口割りで180万円を按分で26校区割ると7万円ぐらいたと、地域福祉活動をするに5万円の支給がある。その他、手あげ方式の共同募金の事業がある。

問 学校統合並びに三町合併により、校旗は

小・中学校の校旗について

現在、どのような状態で活用されているか。また今後の考えは。

植村教育長 曾於市立が2校、旧町立が9校、校名のみが10校、校章のみが2校あり、入学式、卒業式、運動会等に利用されている。

今後、各学校の実態を調査、把握の上、学校や地域だけに任せるのではなく、必要に応じて市の予算で対応したい。

みんな、母校の校旗は
誇りだよな

ちょっと
ひとりごと

住吉神社の流鏝馬を地域振興に活かせ

市長／末吉豊祭を一体的に考えたい



土屋 健一議員

土屋議員 毎年11月23日は末吉豊祭が催される。流鏝馬は県指定無形文化財である。

馬と射手を育成しなければならぬ特殊性があるが、保存伝承は大丈夫か。末吉豊祭の全体イベントの主催が明確でない。市がもっと関与を深め、より発展させ地域振興に繋げる必要がある。



県指定無形文化財の流鏝馬

と思うがどうか。

植村教育長 県内3大流鏝馬のひとつ。大切に保存伝承すべきと認識している。

馬の飼育と関係者への支援は、積極的に取り組みたい。末吉豊祭の武道大会は実行委員会が組織され社会教育課が事務局となっている。

池田市長 神社、流鏝馬保存会、武道大会の一体化は必要と思う。市、保存会、経済団体、観光協会等で実行委員会を立ち上げ体制を整えていく必要がある。

教育力向上について

問 今春の中学校卒業生で有名進学校への進学、学力面での特待生進学の状況はどうであったか。

各中学校にエリート育成の仕組みは構築できないか。

教育長 進学先の高校は、鹿児島中央1名、加治木1名、志布志24名、都城西31名、泉ヶ丘2名となっている。特待生で鹿児島第一4名、鹿児島実業1名、都城東1名である。義務教育の中ではエリート育成はできない。

数学や英語で学習の習熟度に応じて指導は行っている。

問 ①心の教室相談員設置事業、②スクールカウンセラー配置事業、③スクールソーシャルワーカー活用事業の24年度実績は。

多くの不登校児童生徒の心の居場所は必要。志布志市、鹿屋市、霧島市、都城市、三股町などは適応指導教室を開設しているが、曾於市には必要ないのか。

教育長 ①は4名の相談員で339回、友人関係、家庭生活の相談

が主。

②は3人のカウンセラーで238回、不登校、友人関係が主。③は2人のソーシャルワーカーで792回、いじめ、不登校が主で専門知識を要する。適応指導教室は今のところ考えていない。前述の①②③で不登校や教育相談体制の充実を図っていく。



近隣市にある適応指導教室

適応指導教室は、曾於市だけ無いんだよなあ…

ちょっとひとりごと

高原病院の移転問題に伴う末吉中央公民館の今後の対応は

市長／移転問題と跡地利用については慎重に検討したい



海野 隆平議員

海野議員 高原病院は、昭和21年6月に診療所開設以来、末吉地域の基幹病院として、曾於市民の健康を支えてき



築50年の末吉中央公民館

池田市長 高原病院は診療所を開設以来、地域に根ざした診療活動を続けてこられ、地域住民の健康を支えてきていただいている。

た病院であり、街中心部に必要な病院と考えるが、市長の見解を求めたい。

曾於市にとって、市民の健康及び生命を守る大事な基幹病院の一つであり、高齢者福祉を支える介護福祉施設でもあるので、街中心部に位置することにより、商店街の活性化にも大変寄与しているものと考えます。

問 今期、6月定例会に陳情も上がっているが、新たな病院の建て替え計画については、どのように認識されているのか。

市長 本年2月21日付けの医療法人参篤会からの「末吉中央公民館の土地取得に関する要望書」で承知している。同じく3団体より連名により「高原病院建設に関する陳情書」が出されており、病院建て替えに際しては、隣接している末吉中央公民館を移転し、跡地を高原病院に譲渡願いたいという内容である。



企業誘致が待たれる内村工業団地

末吉中央公民館は昭和37年に建設され、築50年経過している。

今後、移転問題と跡地活用については慎重に検討したい。

本市のこれからの企業誘致は

問 市長の企業誘致に対する考え方、今後の目標、計画について。

市長 これまでの企業誘致については、雇用力のある製造業を中心として推進してきた。

今後、内村工業団地

へ一社の立地協定を予定している。

問 地元の中小零細企業者の育成については、どのように考えているか。

市長 セーフティネットの活用による経営の安定対策や、平成24年より市単独の商工業新規就業者支援事業による新規参入及び、後継者の育成確保対策を講じている。

問 県企業懇話会やか

ごしま企業家交流会等からは、どのような情報を得ているのか、また情報に対する対応は。

市長 国内企業の動向は、国内生産拠点の再編や、生産の海外へのシフト、新興国への投資拡大をしているのが現状、県等からの情報は少ない。

情報提供があった場合には、すぐに対応するように指示している。

病院はやっぱり
近くがよか！！

ちょっと
ひとりごと

畜産振興基金貸付事業 2頭を4頭に

市長／経営確立に効果があるので検討する



原田賢一郎議員

原田議員 繁殖雌牛導入事業、1頭3万円補助を1戸当たり7頭ま

池田市長 規模拡大のための更新と更なる増頭を図るうえで効果がある。

で補助していたが、今回それを15頭まで引き上げたその効果をどう考えるか。



活気のある畜産共進会

問 昨年度における交付の状況は。

市長 市全体で1〜2頭418戸、3〜4頭63戸、5〜6頭22戸、7頭14戸であった。

問 畜産振興基金貸付事業（1農家当たり40万円を2頭まで融資、4年目一括償還）の実績は。

市長 曾於市全体で113戸の160頭、貸付額が6246万6千円であった。

問 この事業を4頭にできないか。

市長 牛の更新率を考えると経営確立に効果があるので検討する。

国保の温泉利用券について

問 以前の定例会での一般質問で、「温泉宿泊券と温泉日帰り券を自由に選択できない



旧月野中



旧恒吉中

活用が望まれる学校跡地

か」に対し検討することのことであったが、どう検討されたか。

市長 県内市町村の状況を調査し、日帰り宿泊の自由選択について再検討してきた。

問 同じ金額の範囲内なら日帰りでも宿泊でもよいのではないか。

市長 予算の範囲内で日帰り、宿泊の区別を無くし、平成26年度から取り組む。

学校跡地の活用策は

問 県立高校跡地は市が積極的に計画を作り、県に提案すべきではないか。

市長 早い機会に跡地検討委員会等を立ち上げ、県と連絡、協議を行なっていく。

問 中学校跡地（旧月野中・恒吉中）の活用は。

市長 跡地活用には至ら

ていない。引き続き民間活力等を含めた検討を行う。

中学校閉校後8年にもなるのに何やってるの

ちょっとひとりごと